

韓国研修団が二子幼稚園へ 遊び中心の教育に関心

韓国の国立大学である韓国教員大学の研修団が十月十九日、東京・二子玉川の東京都市大学二子幼稚園（波田野久美子園長）を訪れ、園内の施設見学や授業参観を行った。

視察に訪れたのは幼稚園長ら三十人で構成する「韓国教員大学校長資格海外研修団」。教室や運動場を回り、子どもたちが元気に遊んだり、体操をしたりする姿を見学していた。



園内を視察する韓国研修団

波田野園長は、二〇〇

四年に新築した園舎に、オール電化システムを採用しているほか、シックハウス対策や防犯・防火対策に力を入れていることを説明。移動動物園や観劇会など、遊びを中心に幼児期から五感を育てる教育を紹介した。

研修団のメンバーは、「韓国では教室での授業が中心だが、（園の方針に）どうやって保護者の理解を得ているのか」など日韓の違いについて質問したほか、「近くにはいくつくらい幼稚園があるのか」「スクールバス

や給食はどうなっているのか」「雨の日はどこで遊ぶのか」「園長になる資格は」「時間外の預かり保育はやっているか」など次々と熱心に質問していた。

訪問団の来日は今回で七回目。メンバーは、六日間にわたって、二子幼稚園をはじめ国内四つの幼稚園を視察した。